

R5 マニュアル

cervélo

cervélo

目次

はじめに.....	1
フレームの特徴.....	2
フォークの準備.....	3
小さな部品.....	5
フレームの準備.....	6
機械ケーブル配線.....	7
電気ケーブル配線.....	9
シートポストの組み立てと取り付け.....	11
フレーム保護の取り付け.....	13
CS026 ステム.....	14
AB06 ハンドルバー.....	15
タイヤクリアランス.....	16

導入

Cervélo ファミリーへようこそ。R シリーズの自転車をお選びいただいたことを心よりお祝い申し上げます。

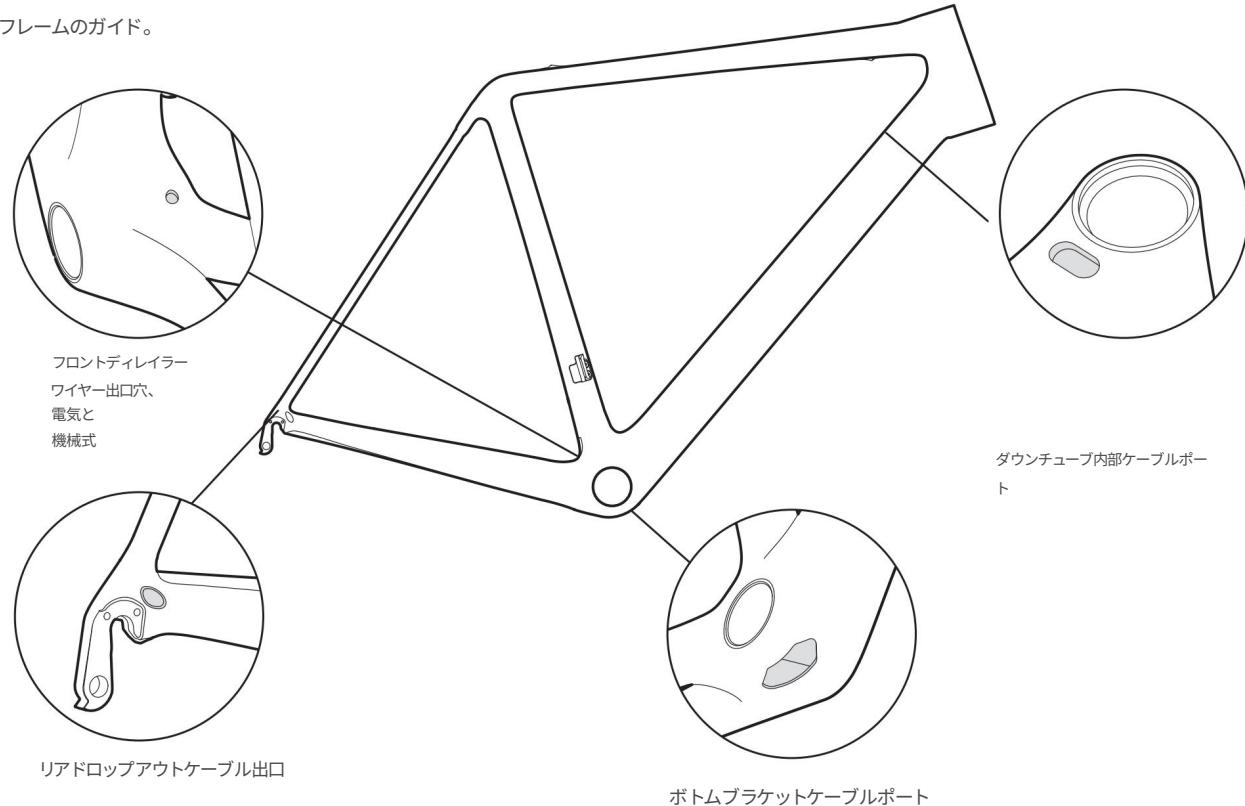
Cervélo R シリーズのクラシックロードバイクは、超軽量エンジニアリングを採用。どんな登り坂も攻め、下り坂ではスピードとコントロールを存分に楽しめます。控えめなデザインが、路面へのレスポンスに優れた安定した乗り心地と、パフォーマンスを最大限に引き出します。

高性能車を所有する上で、その機能と整備要件をよく理解しておくことが重要です。組み立てや使用の前に、このマニュアルを必ずお読みください。

このドキュメントは、R シリーズの独自機能の組み立て手順を説明するために作成されていますが、コンポーネント製造元が提供する組み立て手順の補足としてのみ使用されることを目的としています。

フレームの特徴

Cervélo R5 フレームのガイド。



フォークの準備

A.ステムキャップ + 5mmボルト

B.ヘッドセットスペーサー

C.ペアリングキャップ

D.圧縮リング

E.ペアリング

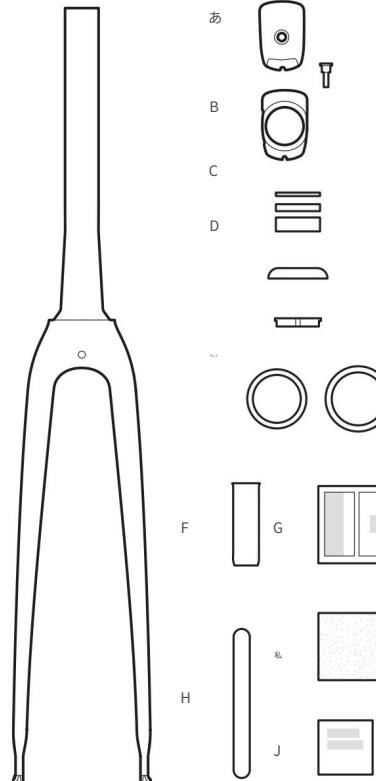
F.フォークインサート

G.2液型エポキシ

H.ミキシングスティック

I.イソプロピルアルコールワープ

J.サンドペーパー（120番）



1. ペアリングシートにグリースを塗布し、上部と下部を取り付けます。
ヘッドセットペアリングをヘッドチューブに組み込みます。

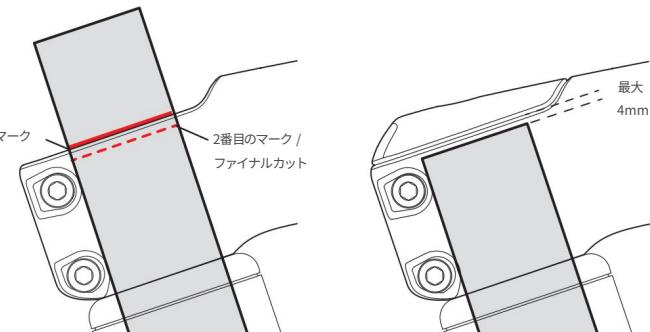
2. フレームに付属のフォークを、ヘッドセット式、必要なスペーサー、ステムとともにヘッドチューブに取り付けます。

3. アセンブリが完全に固定されていることを確認するために必要な最小限の圧力を加えます。ステムの上部にあるステアチューブに印を付けます。

4. フォークを取り外し、フォークステアラーチューブに明確に印を付けます。
最初の印から4mm下の点。この測定値がステアチューブのカットラインとなるため、必ず正しくことを確認してください。

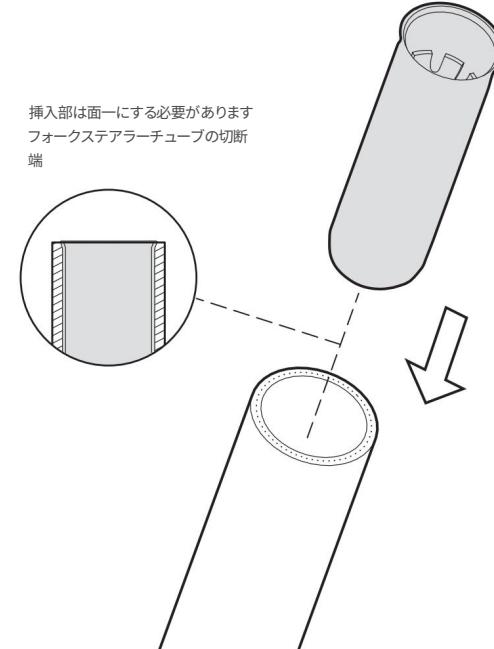
▲ Cervéloのフレームとフォークは互いに連携して動作するように設計されています。異なるサイズのフォークに交換する場合は、Cervéloカスタマーサービスにお問い合わせいただき、フレームとの互換性をご確認ください。

▲ 炭素複合材料の切断時に発生する粉塵を吸い込まないようにしてください。



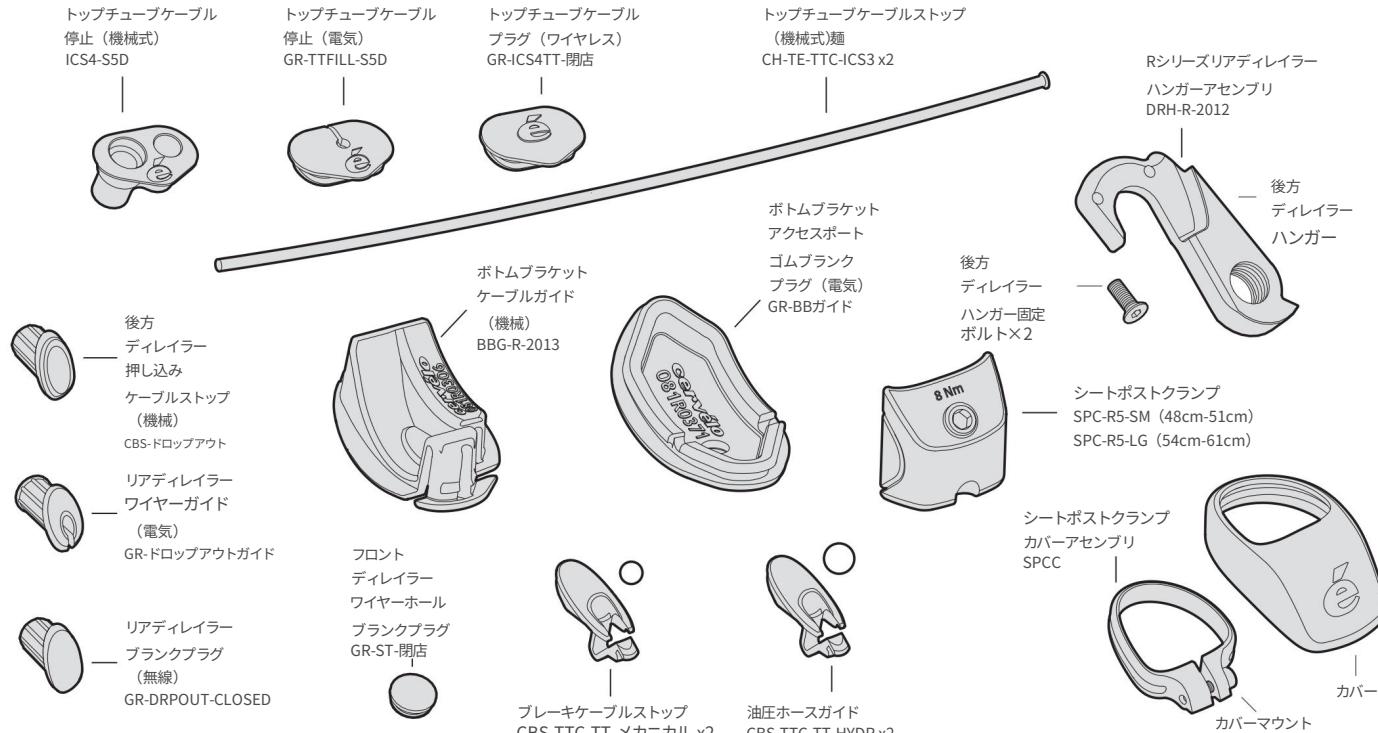
5. フォークステアラーをトリミングするには、カーボンの切断に適した鋸のみを使用してください。
そしてカッティングガイド。
6. ステアラーの切断端の内側に慎重に斜面をやすりで削ります。
インサートにフィットするチューブ。
7. インサートを仮組みして、ステアラー チューブの切断端と面一になっていることを確認します。
8. イソプロピルアルコールを使用して、ステアラーチューブの内側とインサートの外側を清掃します。
9. 2 成分エポキシを完全に混ぜ、木製のミキシング スティックを使用してインサートの外側の表面に塗布します。
10. インサートをゆっくり回転させながらステアラーに差し込み、広がった端がステアラーの上部と面一になるまで押し込みます。
11. イソプロピルアルコールワイプを使用して、ステアラーチューブの外側の表面から余分な接着剤を拭き取ります。
12. フォークを脇に置き、そのまま置いておく。
硬化期間。

- ⚠ 完全な硬化期間が完了する前に、フォークを自転車に取り付けようとしないでください。
- ⚠ ステアラーチューブを不適切に切断すると、重大な傷害または死亡につながる故障が発生する可能性があります。
- ⚠ ベアリング キャップを含めたスペーサーの合計最大高さは 50 mm を超えないようにしてください。

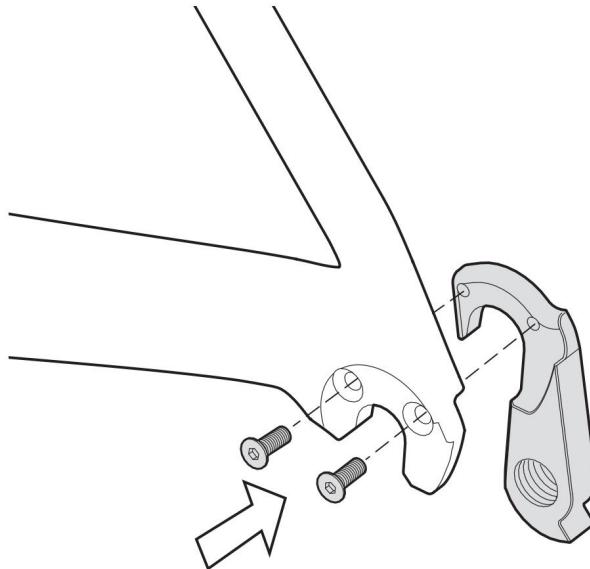


小さな部品

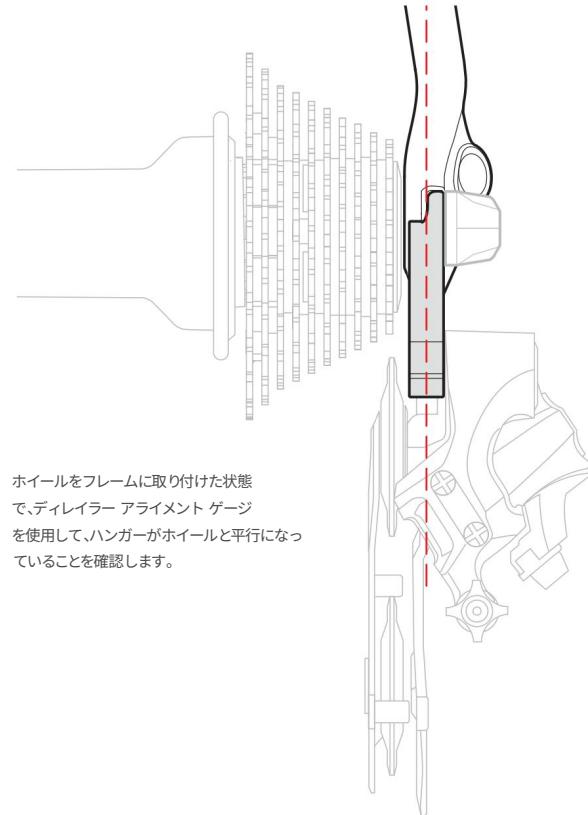
R5フレームは、電子制御、機械式、油圧式の制御システムに対応するよう設計されており、変速方式やブランドを問わず、あらゆる変速システムをシームレスに統合できます。そのためには、以下のパーツが必要です*。



フレームの準備

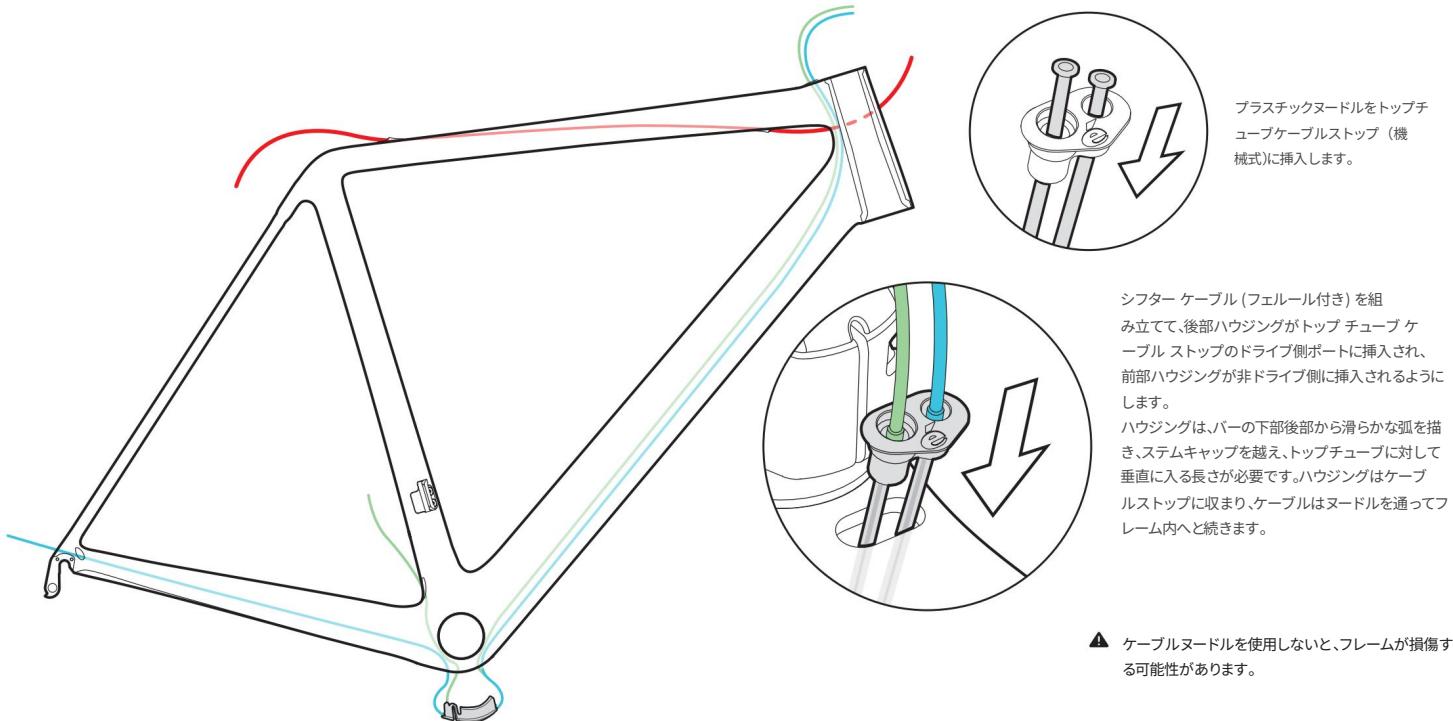


固定ネジにLoctite 242を塗布し、最大1Nmまで均等にネジを締めます。



機械ケーブル配線

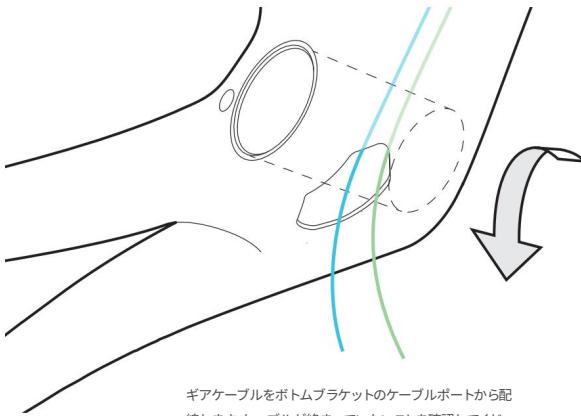
ブレーキホースを取り付けた後、フロントディレイラーケーブルとリアディレイラーケーブルを取り付けることをお勧めします。これらの配線図は、メーカーの取り付け手順を補足することを目的としています。詳細については、コンポーネントメーカーのサービスセンターまたはウェブサイトをご覧ください。



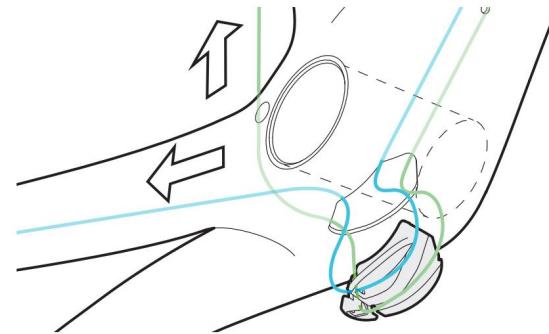
プラスチックヌードルをトップチューブケーブルストップ(機械式)に挿入します。

シフター ケーブル(フェルール付き)を組み立てて、後部ハウジングがトップチューブケーブルストップのドライブ側ポートに挿入され、前部ハウジングが非ドライブ側に挿入されるようにします。ハウジングは、バーの下部後部から滑らかな弧を描き、ステムキャップを越え、トップチューブに対して垂直に入る長さが必要です。ハウジングはケーブルストップに収まり、ケーブルはヌードルを通してフレーム内へと続きます。

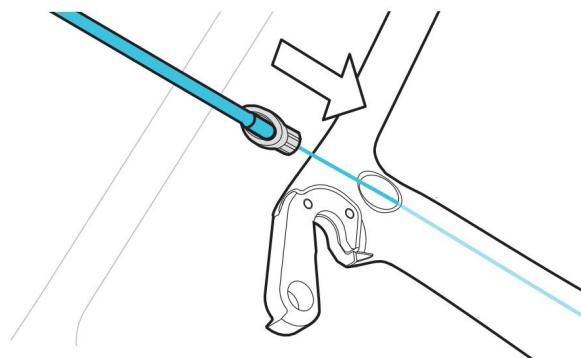
⚠️ ケーブルヌードルを使用しないと、フレームが損傷する可能性があります。



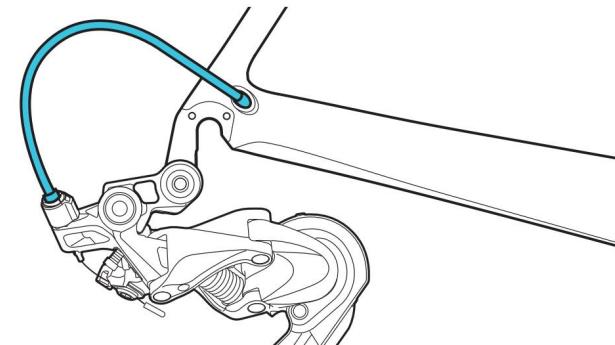
ギアケーブルをボトムブラケットのケーブルポートから配線します。ケーブルが絡まないことを確認してください。



フロントケーブルは非ドライブサイドのスロットを横切り、シートチューブの方向へ進みます。リアケーブルはドライブサイドのスロットを通り、チェーンステーに沿って進みます。完了したら、ボトムブラケットケーブルガイドをカチッとはめ込みます。



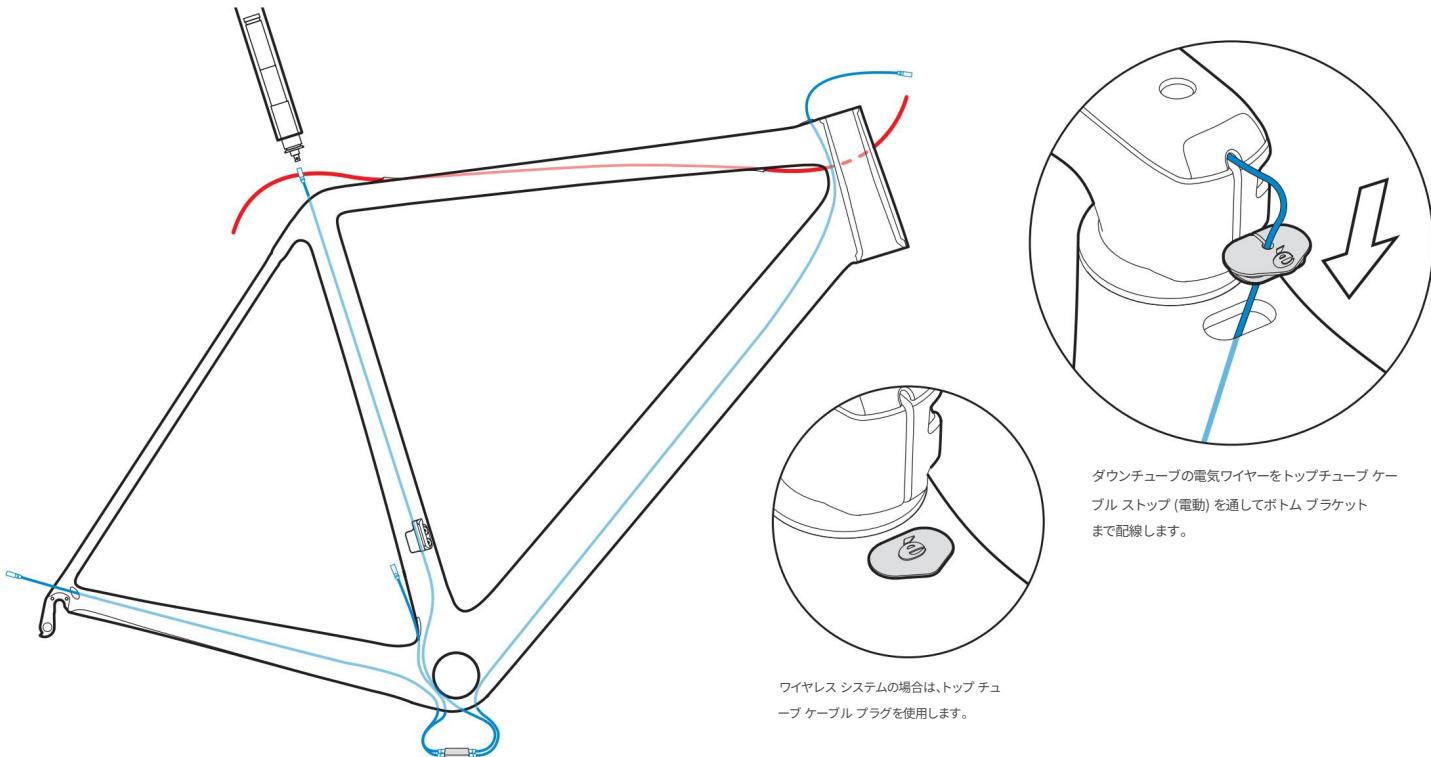
リアディレイラーブレインケーブルストップを取り付けます。

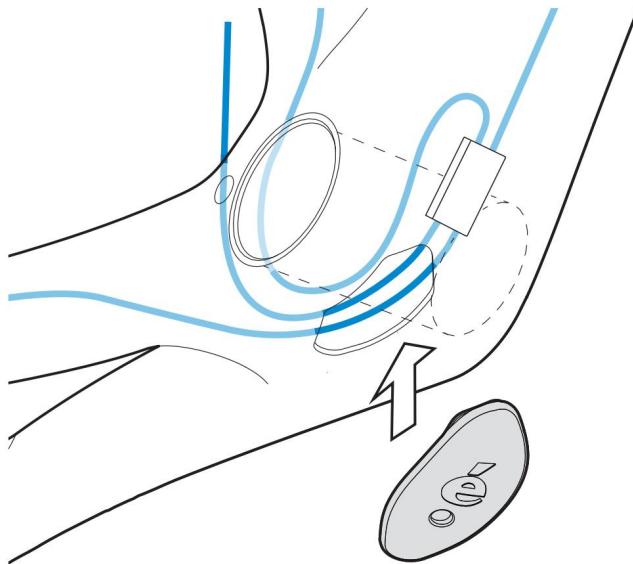


製造元の指示に従って、リア ディレイラーをリア ディレイラー ハンガーに取り付け、適切なハウジングの長さにカットし、ケーブルを取り付けます。

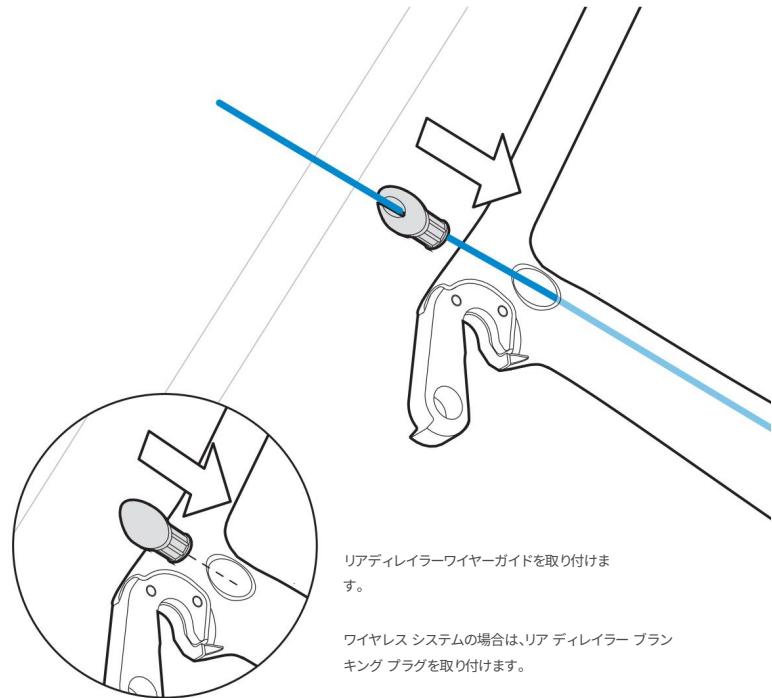
電気ケーブル配線

ブレーキホースを取り付けた後に、電気配線と接続ポイントを設置することをお勧めします。これらの配線図は、メーカーの取り付け手順を補足することを目的としています。詳細については、部品メーカーのサービスセンターまたはウェブサイトをご覧ください。





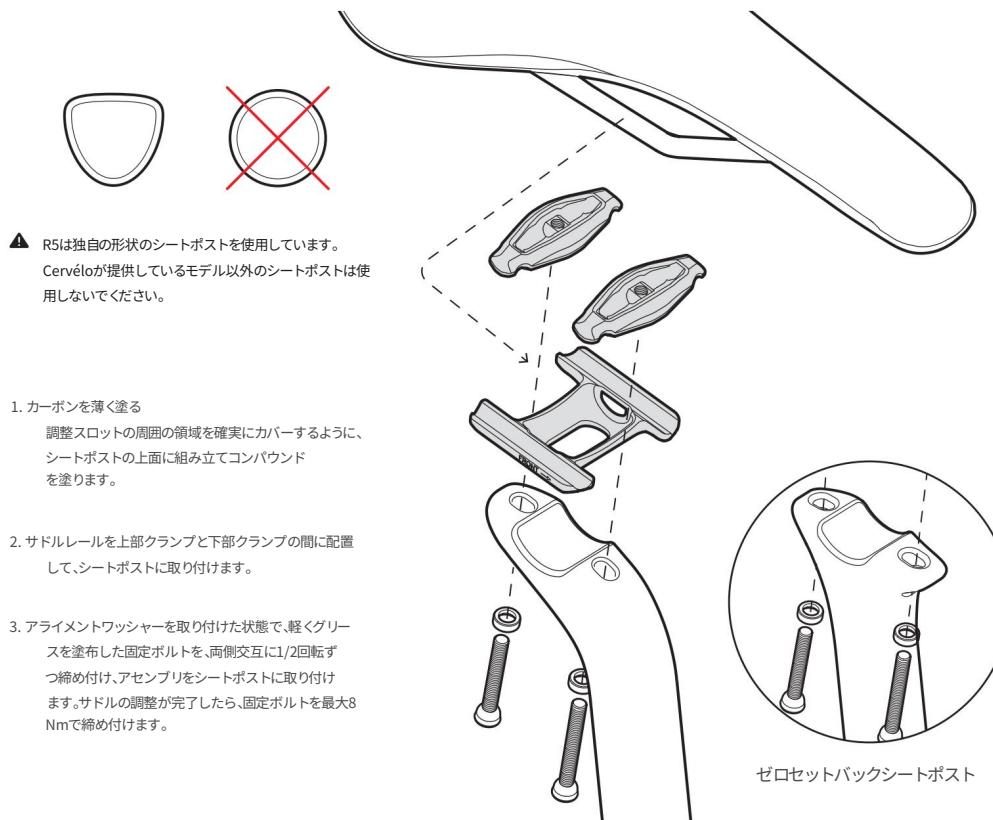
すべてのワイヤーを内部に入れたまま、ボトム ブラケット アクセス ポートをボトム ブラケット アクセス ポート ラバー ブランク プラグで覆います。



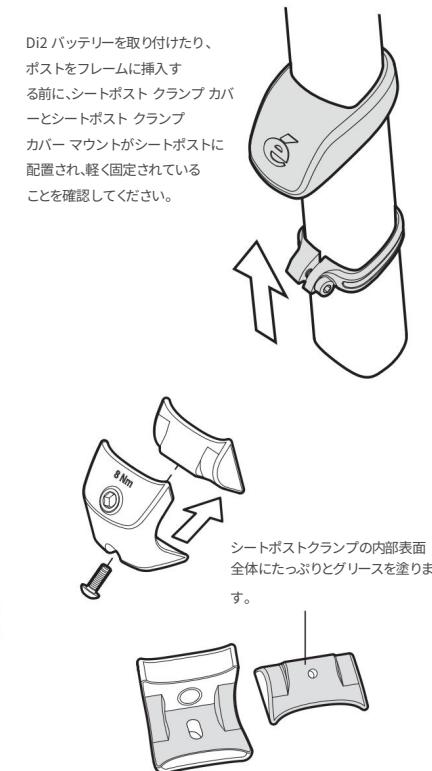
リアディフレイラー ワイヤーガイドを取り付けます。

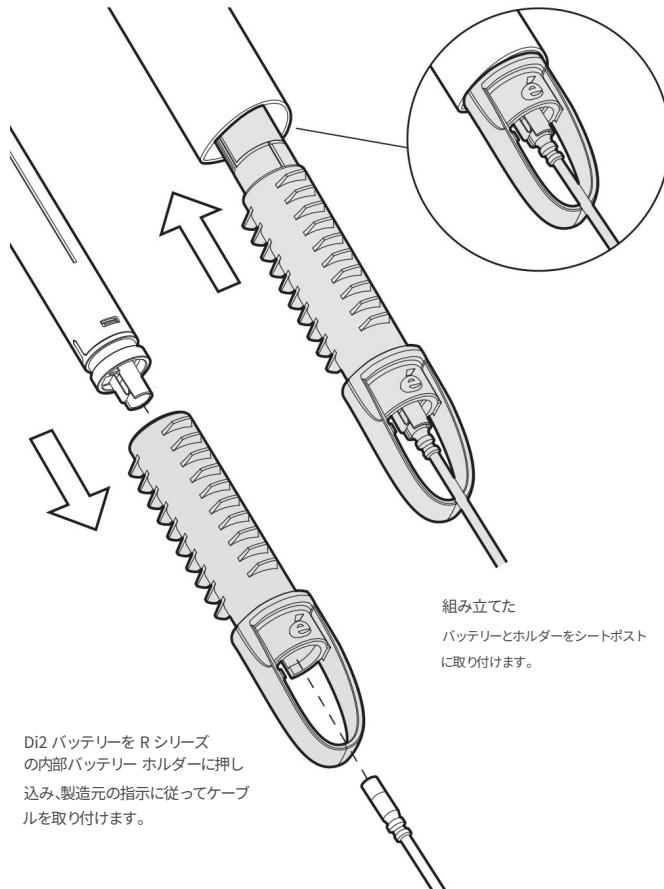
ワイヤレス システムの場合は、リア ディフレイラー ブランギング プラグを取り付けます。

シートポストの組み立てと取り付け



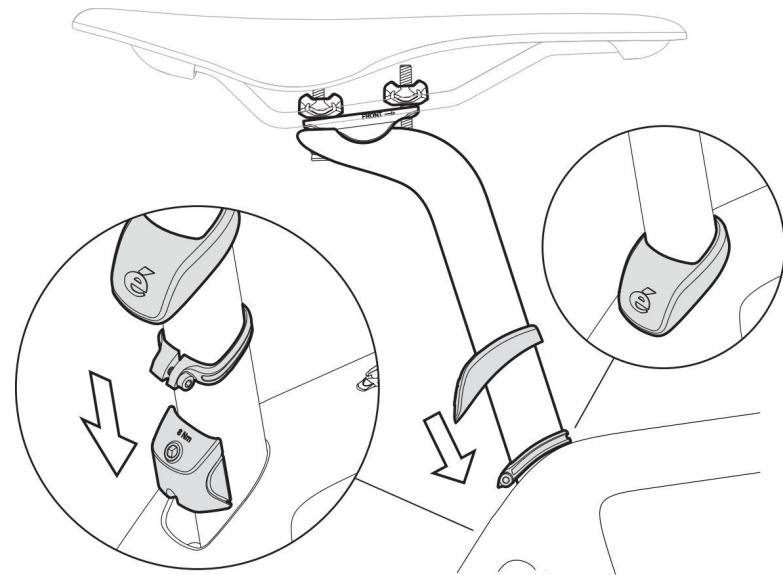
Di2バッテリーを取り付けたり、ポストをフレームに挿入する前に、シートポスト クランプ カバーとシートポスト クランプ カバー マウントがシートポストに配置され、軽く固定されていることを確認してください。





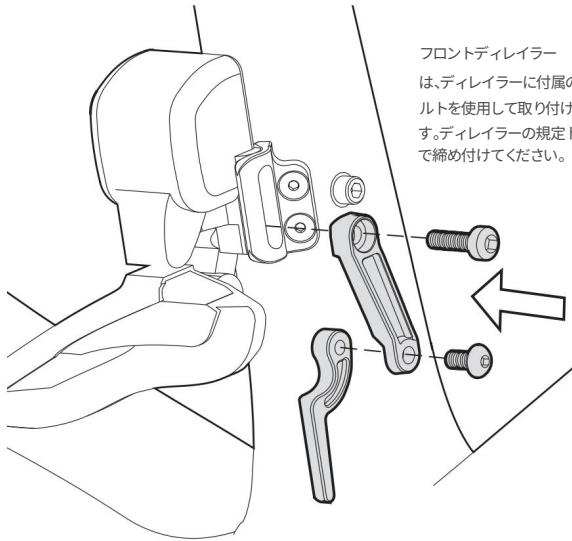
組み立てた
バッテリーとホルダーをシートポスト
に取り付けます。

Di2 バッテリーを R シリーズ
の内部バッテリー ホルダーに押し
込み、製造元の指示に従ってケーブ
ルを取り付けます。

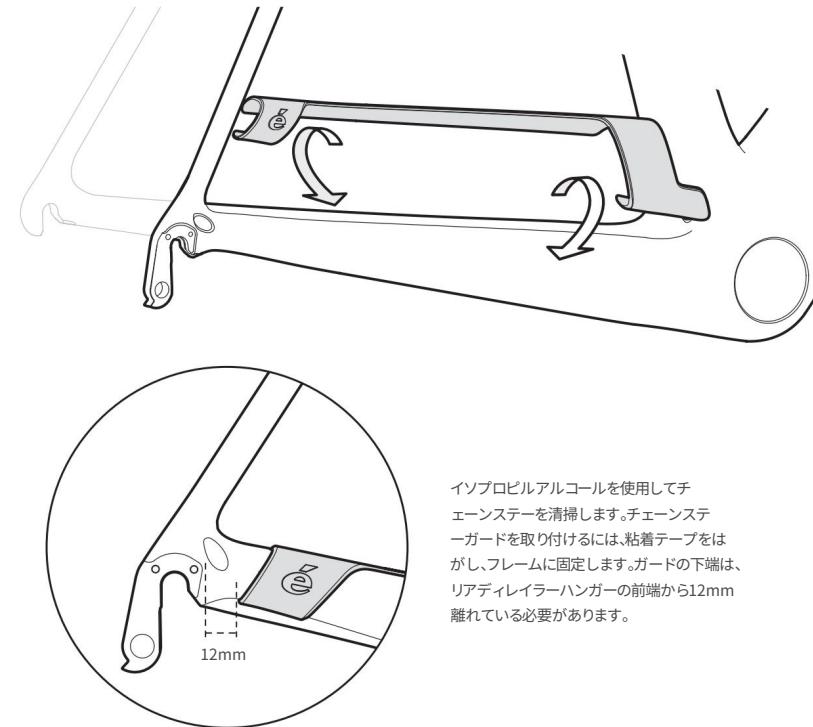


1. フレームとフレームに挿入するシートポストシャフトにカーボンペーストを塗布します。
2. シートポストとシートポストクランプをフレームに挿入します。
3. 高さを調整し、シートポストクランプを最大 8 Nm に締めます。
4. シートポスト クランプ カバー マウントをフレーム表面の上部に配置し、最大 1 Nm にトルク
調整します。
5. シートポストクランプカバーを押し下げて、カバーマウントに取り付けます。

フレーム保護の取り付け

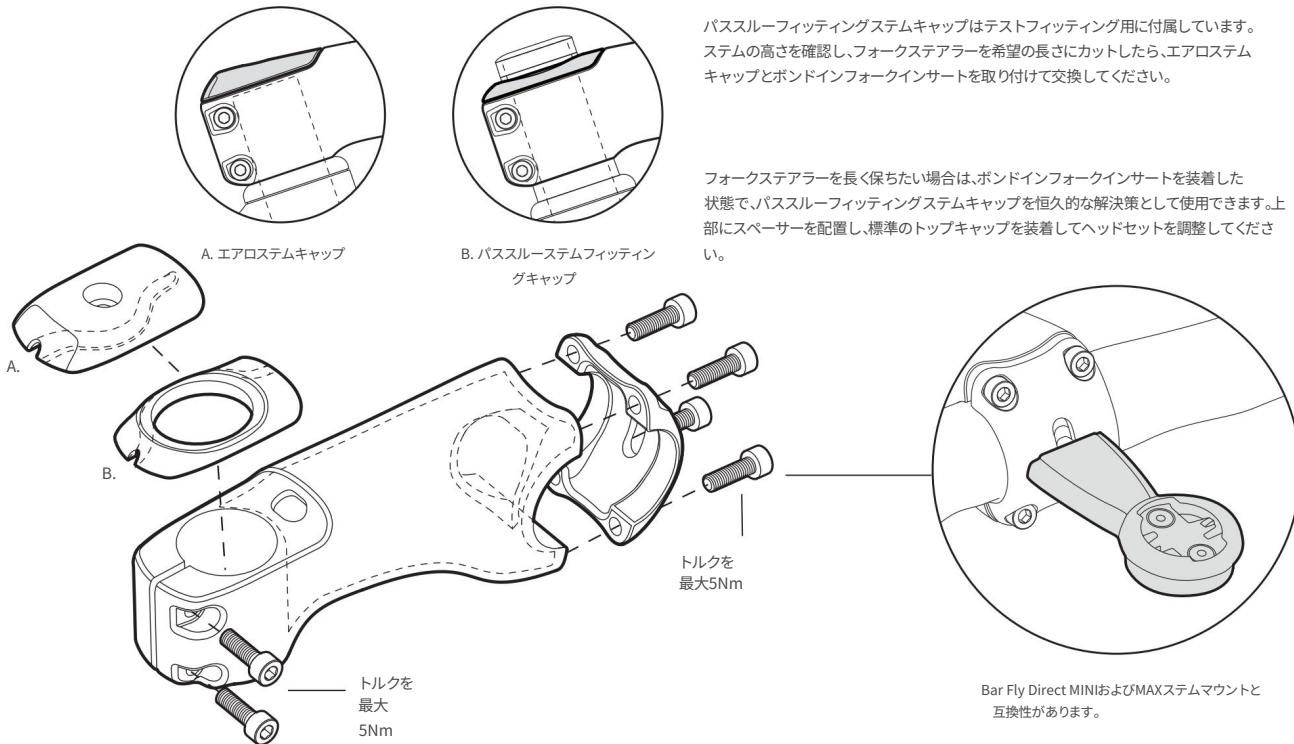


フロントディレイラーを取り付ける際にチェーンキャッチャーを取り付けます。チェーンを最小チェーンリング、最大カセットスプロケットにセットした状態で最終調整を行います。接続ボルトを4Nmで締め付けます。



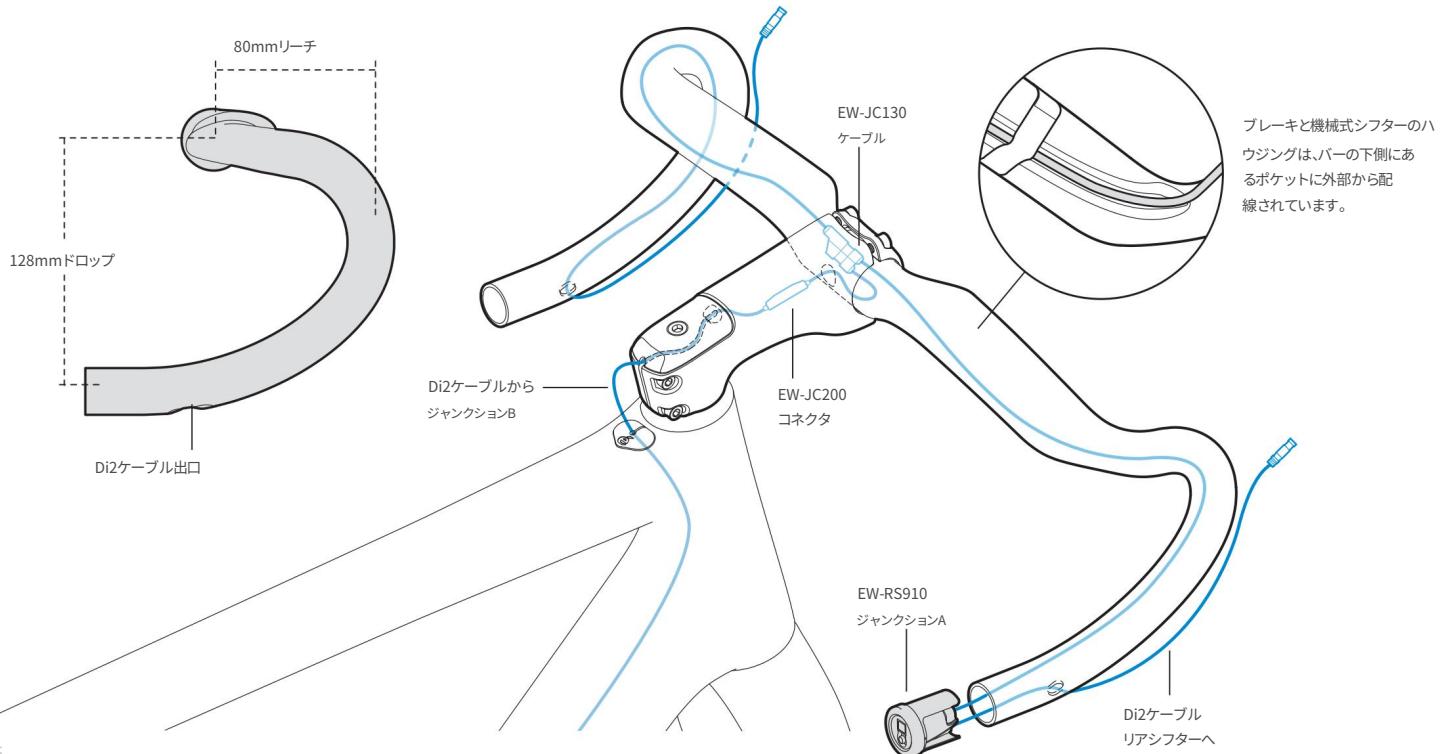
CS026 ステム

CS026ステムは、シマノEW-RS910バーと互換性のあるハンドルバーと組み合わせることで、Di2ワイヤーの内装配線に対応しています。詳細については、コンポーネントメーカーのサービスセンターまたはウェブサイトをご覧ください。



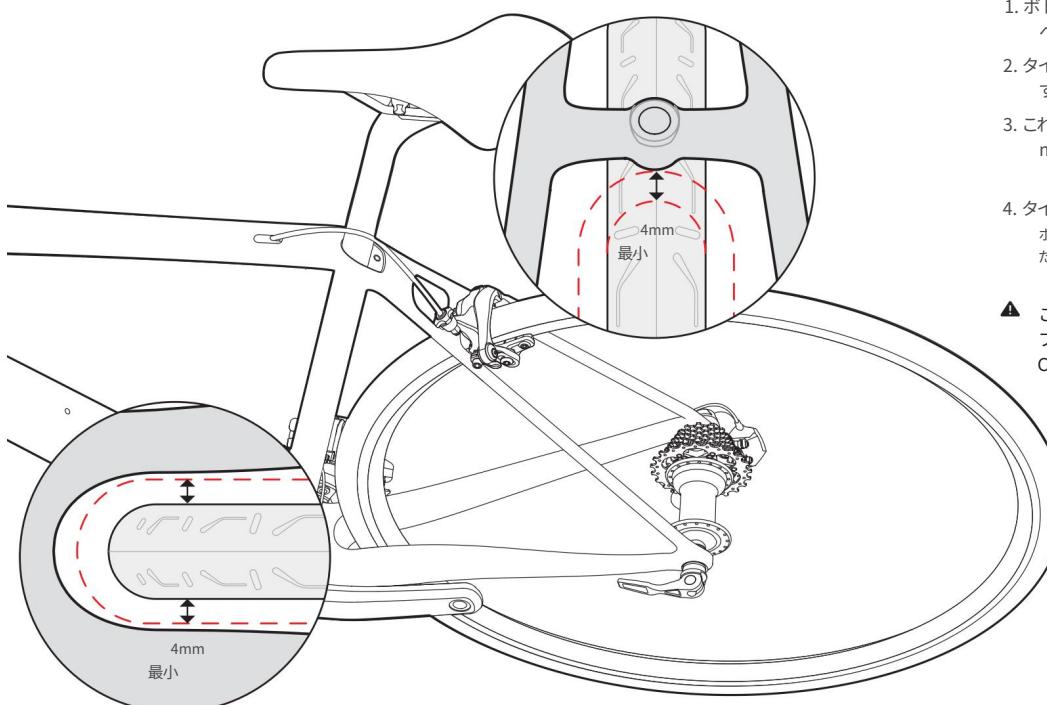
AB06 ハンドルバー

AB06ハンドルバーは、シマノEW-RS910/バー端ジャンクションと互換性のあるステムと組み合わせることで、Di2ワイヤーの内装配線に対応しています。これらの配線図は、メーカーの取り付け手順を補足する目的でのみ提供されています。詳細については、コンポーネントメーカーのサービスセンターまたはウェブサイトをご覧ください。



タイヤクリアランス

Cervéloバイクは、タイヤクリアランスに関するISO 4210-2:4.10.2規格に準拠しています。これらの安全基準を遵守し、限定生涯保証を維持するには、タイヤとフレームのあらゆる要素の間に最低4mmのクリアランスを確保する必要があります。タイヤとリムの接合部はますます複雑化しているため、Cervéloではタイヤを選ぶ前に、利用可能なスペースを確認することを推奨しています。



1. ボトムブラケット接合部におけるチェーンステー間のスペースを測定します。
2. タイヤの上部にあるシートステー間のスペースを測定します。
3. これら 2 つの数値のうち小さい方から 8 mm (片側 4 mm) を減算して、残りのスペースを決定します。
4. タイヤを取り付けて完全に空気を入れた状態でホイールに合うかどうかを確認するために、タイヤの幅を測定してください。

⚠ これらのガイドラインに従わない場合は、フレームの損傷は補償対象外 Cervélo 限定生涯保証。

R5 マニュアル

www.cervelo.com
CER-R5-V2

cervelo